

ふれあい合校～こしがやを知るセミナー～

【宿場町大澤探訪ビデオ上映会】及び  
かつての【武州大澤駅付近のあれこれ】

oo

**！レンズを通して**

**知る大澤のまち！**

日時 平成15年10月19日(日)

午前10時～正午

会場 大澤公民館 大会議室

主催 こしがや地域ネットワーク13(略称 ケネット13)  
大澤公民館

10:00~12:00

## プログラム

開 会 10:00  
挨拶  
講師紹介

第1部 ビデオ上映 10:10~10:40

「武州大澤伝統文化を探る」  
説明 川島 健司氏  
元中学校校長

第2部 10:50~11:20

「東武鉄道・武州大澤駅付近）  
（現北越谷駅）に、ちなんだあれこれ」  
講師 岡崎 洋平氏  
クラシックカメラ研究家

第3部 ビデオ上映 11:30~12:00

「宿場町大澤探訪」  
説明 川島 健司氏

## ケネット13「宿場町大沢探訪ビデオ上映会」資料

### 第1部 平成14年3月16日実施 「武州大沢」地域の伝統文化を探ってみよう

1. 〔武州大沢駅の頃の話〕 八坂連 須賀 秀夫氏
2. 〔大沢の香取神社の話〕 香取神社 宮司 小林 桂子氏  
古くから地域の鎮守様として深く信仰されている。  
本殿の「彫刻」は越谷市の有形文化財に指定されている。
3. 伝統芸能『里神楽』観賞 八坂連 須賀 秀夫氏 他  
須賀氏より内容を伺いました。  
①寿獅子舞（にぎやかにひよっこ、大黒さまが表れる。御座敷で行なう獅子舞です）  
②種かし（種まきの意。きつねが種を蒔いていると、そこに「さくべえ」が来て拾って食べてしまう。怒ったきつねは、いろいろと「さくべえ」をだます。騙されたまま帰るという内容）
4. お楽しみ香取神社ウォークラリー  
香取神社の境内で、問題を解きながら、散策を行なった。

### 第3部 平成15年3月16日実施 「宿場町大沢探訪」

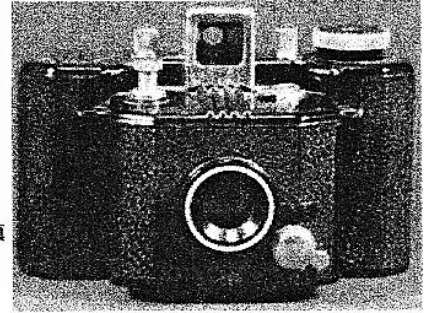
1. 〔宿場町大沢のあれこれ〕 講師 鈴木 徳治氏  
(元小学校校長、郷土史研究家)
2. 〔大沢のまちを探訪〕 講師 鈴木 徳治氏  
〔コース〕  
光明院 年代不祥の塩かけお地蔵さまは、古くから、地域の願掛け地蔵さまとして、信仰されている。  
大沢香取神社 古くから地域の鎮守様として深く信仰されている。  
本殿の「彫刻」は越谷市の有形文化財に指定されている。  
照光院 江戸時代の寺子屋をへて、明治10年には、大沢小学校として開校された地。  
弘福院 木彫りの円空仏様は、越谷市の有形文化財に指定されている。  
福井邸 江戸時代の本陣を務めていた。

## 「東武鉄道・武州大澤駅（現・北越谷駅）に、ちなんだあれこれ」

- 武州大澤駅にちなんだ歴史
- 武州大澤駅 概略図（筆者の記憶から）
- 武州大澤駅付近・約50年前の様子 主に筆者の撮影写真から

## 参考資料

- 参考資料1 きりんぼ置き場（桐積み場）といかだのイメージ模型写真と、桐羽子板への描画の様子など
- 参考資料2 北越谷・当時の様子 現マップに注釈
- 参考資料3 市販資料から見る東武鉄道史 郷土出版社2003.06.18 撮影当時と同型カメラ



本資料筆者 ASGROWN OKA 岡崎洋平



1938.10 東京・下町(上日暮里・初音町産)  
どうしても、「ひ」が「し」になる  
ラジオ少年を経て、電気通信工学専攻し職（食）の源  
クラシックカメラ研究、メーカ依頼にてデジカメ開発に協力中

武州大澤駅前にての筆者 1952.2当時

ご参考：<http://homepage2.nifty.com/asgrown/index.html>

## 「東武鉄道・武州大澤駅（現・北越谷駅）に、ちなんだあれこれ」 2003.10.19

ASGROWN OKA 岡崎洋平

みなさん、こんにちは。

みなさんと武州大澤駅の歴史など学ぶ機会を得て嬉しく思います。  
カメラや電気工作が好きな昔・ラジオ少年です。

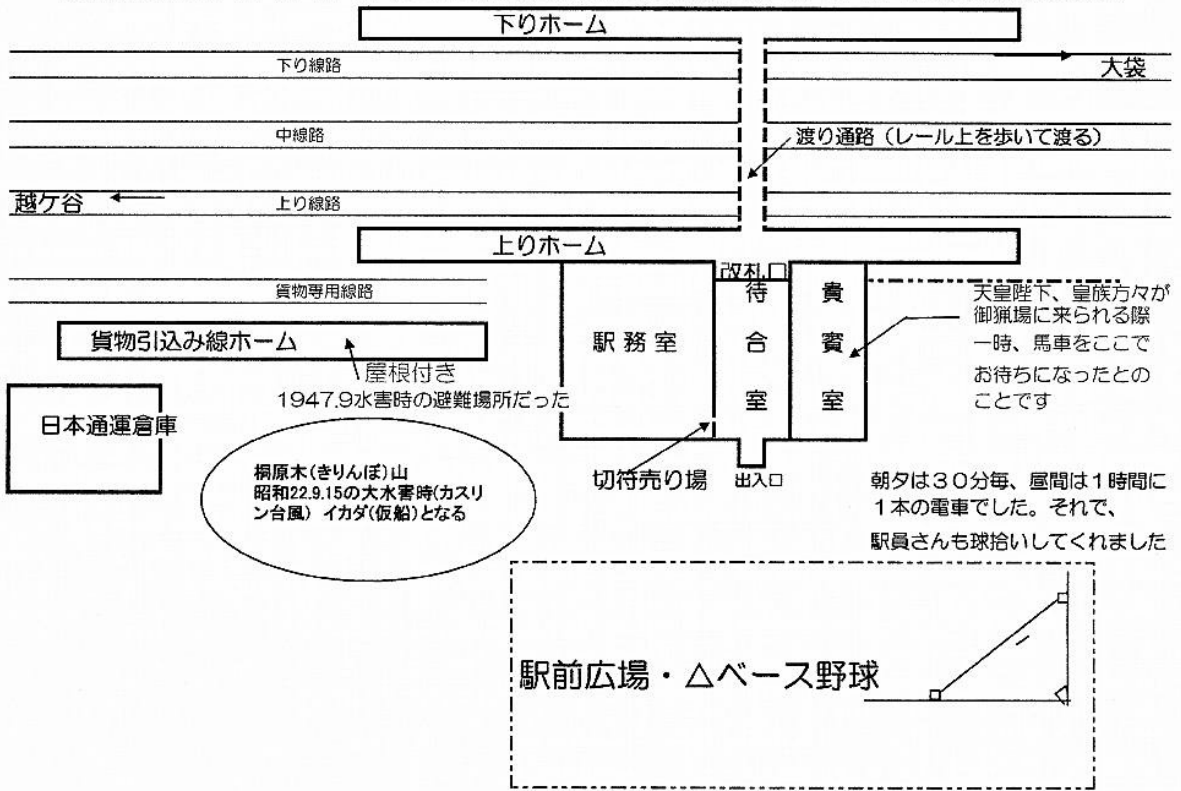
さて、越谷の鉄道に関する生い立ち（歴史）を調べてみました。

- |                |   |
|----------------|---|
| 1893 明治26      | 日光道中、千住～粕壁（現・春日部）間に千住馬車鉄道が開通                                  |
| 1899 明治32      | 東武鉄道 千住～久喜 開通 越ヶ谷駅（後の武州大澤駅）と蒲生駅誕生<br>即ち、大澤町に設立の駅を最初は越ヶ谷と名づけた。 |
| 1908 明治41      | 宮内省埼玉鴨場開設   |
| 1913 大正2       | 越谷町～大澤町 電灯線が引かれる  |
| 1920 大正9       | 東武鉄道越ヶ谷駅（現・越谷駅）開設 旧越ヶ谷駅の名を武州大澤駅とする                            |
| 1947 昭和22.9.15 | カスリン台風時 武州大澤駅・屋根付き貨物ホームも非難場所となる                               |
| 1954 昭和29.11   | 越谷地区2町8ヶ村合併 越谷町となる。   |
| 1956 昭和31.12   | 武州大澤駅が北越谷駅と改称される。   |
| 1962 昭和37.5.31 | 北越谷～人形町 日比谷線 直通開始   |

大澤（大沢）の語源：「大」----多い 「澤」----池

即ち、池の多い地域だったことから生まれた地名とのこと。

武州大澤駅 概略図 (筆者の記憶による)



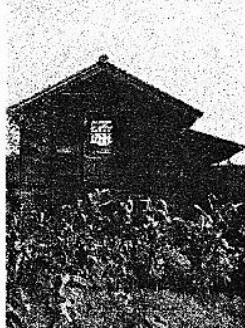
武州大澤駅・思い出の写真集

(拙写真はSTART35IIにて撮影)

武州大澤駅舎 1954.8

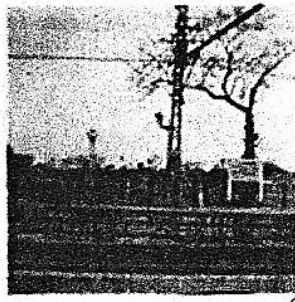


日本通運倉庫 1953.7.9



武州大澤駅には貨物倉庫があった

下りホームを望む 1953.4.7



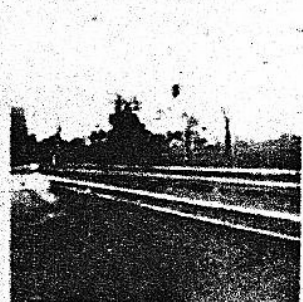
このホームからは富士山も元荒川の土手も見えた

汽車 1953.7.21



当時は貨物と申せば汽車が電気機関車

付近のレール 1952.12.26



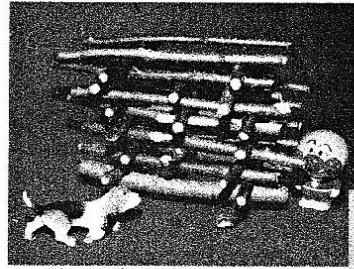
家並みは全く見えない

電車 1953.2.22



線路内にて遊んだ証拠にもなった

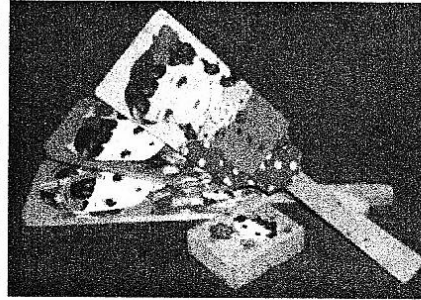
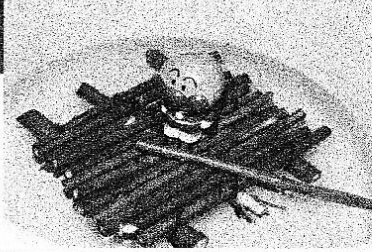
参考資料1



積み上げて保管していた桐原木

イメージ模型写真

昭和 22.9.15 大水害時に活躍した「いかだ」



1949.11. 29付 サン写真新聞から

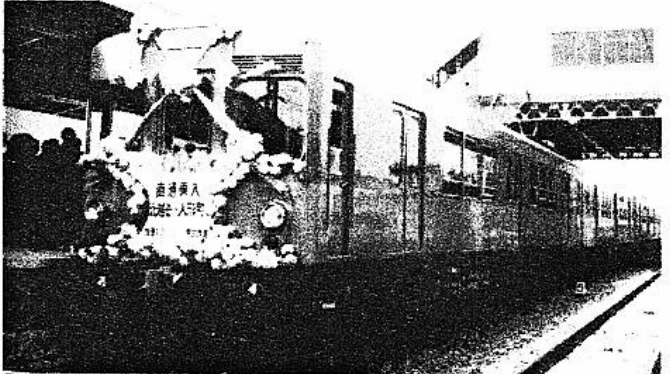
参考資料2



参考資料3



汽車見物に寄生停車場に集まった川崎小学校の児童たち（越谷市・明治32年11月） 国分駅近の国分停車場（越谷市）の国分小学（川崎小学校）の全校児童が、汽車見物で駅舎前にも集った。文明開化の象徴である汽車を初めて目のあたりにして、子どもたちの心は喜びが感じられる。（川崎自治史協会）



東武線に地下鉄乗り入れ（越谷市・昭和59年） 「新武へ部分」のキヤノンカメラとともに、地下鉄日比谷線が北越谷駅まで延伸された。平塚と大宮間までであったが、以後東武沿線の駅舎は急速に老んだ（越谷市所蔵）

参考文献 目で見える越谷・草加・三郷・八潮・吉川・松伏り100年 郷土出版社 定価 11,000円

2003.06.18 発行による

2003.08.20郷土出版社・社長 神津良子様から引用の了承を得ております。講演会参加の方のみ配布とします。